

加布里っ子だより

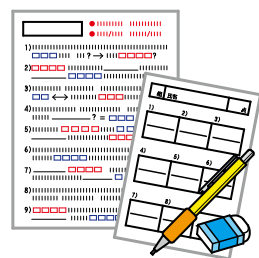
文責 校長 伊藤 由美子

かんがえる かしこい子ども
ふれあい つながる子ども
りっぱに やりとげる子ども

◇もうすぐ前期課程、終了!◇

10月4日(水)は、前期終業式(給食なし)となりますので、この日に各担任から「あゆみ」を渡します。この「あゆみ」の見方について、特に1年生の保護者の中には初めての方もいらっしゃると思いますが、各担任からあゆみの評価の観点について、資料のプリントをお配りする予定にしています。それを参考に、ご家庭でも子どものがんばりを評価してあげてください。身近な人からの肯定的な評価が、子どもの成長には大きくプラスになりますので、ぜひともよろしくお願いします。

なお、後期始業式は、10月10日(火)(給食なし)です。前期と後期の間が短いですが、気持ちを切り替えて、前期の反省をしっかりと後期の学習活動に生かしていきましょう。



◇5年生 九大寺子屋◇



「圧力を知ろう!」と題して、九州大学理学部の学生さんが授業をしました。実験を交えながらの説明に、子どもたちは、興味津々でした。身近な圧力である「大気圧」や「水圧」について知りました。**科学への第一歩は、「当たり前を疑うこと」だそうです。**

もう一つの授業は、「宇宙人っているの?」というテーマでした。地球のように「ちょうどいいあたたかさ」の星は20ぐらあるので、宇宙人はいるかもしれませんが、まだ見つからないそうです。この世には、宇宙人のようにまだまだ分かっていないことはたくさんあるけれども、**「想像」をもとに考えていくのが科学の初めの一歩**というお話がありました。



10月

- 10日(火) 後期始業式、給食なし 12:00 下校
- 13日(金) クラブ活動⑦
- 18日(水) 6年生親子レク
- 19日(木) 5年生親子レク
- 20日(金) 観劇会
- 23日(月) 5年稲刈り、4年社会科見学
- 25日(水) 4年生親子レク
- 26日(木) 3年生親子レク
- 27日(金) PTAパトロール 14:45~
- 29日(日) 加布里ふるさと文化祭
- ※「子ども生け花教室」の作品展示

11月

- 1日(水) 2年生親子レク
- 2日(木) 秋の遠足
- 6日(月) 委員会活動⑦
- 7日(火) 職員研修のため1年生以外給食後下校
- 8日(水) 1年生親子レク、3年生社会科見学
- 12日(日)、13日(月) 6年生修学旅行
- 14日(火) 6年生修学旅行代休
- 21日(火) 職員研修のため全校4時間(給食あり)
- 24日(金) クラブ活動⑨
- ※行事は変更になる場合があります。

12月

- 9日(土) 土曜授業、学習参観、学校運営協議会
- 22日(金) 後期前半終了(給食なし)

1月

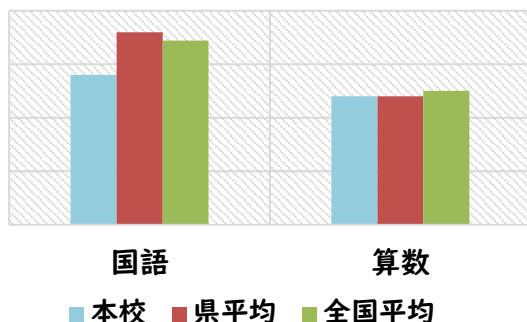
- 9日(火) 後期後半開始(給食なし)
- 25日(木) 令和6年度新1年生入学説明会

◇今年度全国学力・学習状況調査の結果から◇

本年度4月に、6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果について報告します。本年度本校の平均正答率は、国語は5年生の時より向上したものの県平均・全国平均には届きませんでした。算数科は、県平均・全国平均と同率の結果でした。この結果について、校内で以下のような分析・考察を行いました。これをもとに本校学力向上プランを見直し、今後も全職員で児童の学力向上に取り組んで参ります。(ホームページにも掲載)

1 学力調査に関する結果の概要

R5全国学力・学習状況調査



【国語】

- 文章の意味に合わせた漢字を適切に選ぶ問題はよくできている。
- 複数の資料の内容をまとめた文章を、選択肢の中から正しく選択する問題はできている。
- 文章を読んで分かったことを要約したり、自分の意見をまとめたりする問題に課題がみられる。

【算数】

- 伴ってかわる二つの量の関係や、計算による求め方に関する問題はよくできている。
- 結合法則、分配法則を使って、複雑な計算を工夫して考える問題はできている。
- 図形概念を正しく理解したり、問題場面に合わせて適切に活用したりする問題に課題がみられる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 「いじめはどんな理由があってもダメだ」という考えを全ての児童が理解している。
- タブレットの活用頻度が高く、タブレットでの学習の有用感を非常に高く実感している。
- 大人から自分のよさを認められている実感が低い児童の割合が高い。
- 自律的な家庭学習や読書の習慣が定着しておらず、家庭学習の時間も全国に比べて短い。
また、決まった時刻に寝たり起きたりすることができていない児童の割合が高い。

3 取組についての評価 [効果があった取組]

- ・算数科、国語科における読み書き計算の習熟のための「チャレンジタイム」の全校実施
- ・児童会活動の『ありがとう週間』取組での、異年齢同士でのメッセージ交換と校内掲示、教師や児童会による価値付けの年2回実施
- ・授業でのタブレットによる一斉授業や個別課題に応じたドリル学習の全学級での推進

[今後の学力向上に向けた取組]

- ・数や図形などの概念形成の段階での、具体物操作の機会やICTによる視覚資料の充実
- ・睡眠時間や生活リズムの大切さを児童と家庭へ啓発する機会を確保すること